

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市あじさい大学運営委員会(令和2年度第2回)			
事務局 (担当課)		健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課 電話 042-769-8354(直通)			
開催日時		令和3年1月21日(木曜日)～1月27日(水曜日)			
出席者	委員	12名(別紙のとおり)			
	その他	1名(相模原市シルバー人材センター職員)			
	事務局	5名(地域包括ケア推進部長、高齢・障害者福祉課長 他3名)			
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数	なし
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため				
会議次第	<p>1 議題</p> <p>(1) 令和4年度以降のあじさい大学について</p> <p>(2) あじさい大学見直し検討部会について</p> <p>(3) その他</p>				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員長の発言、 は委員の発言、 は事務局の発言)

( 審議を書面等で行った理由 )

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

### 1 議題

( 1 ) 令和4年度以降のあじさい大学について

令和4年度以降のあじさい大学について、事務局より説明資料を送付し、書面により審議を行い、委員12名中11名から了承された。

#### 【主な質疑】

資料全体について感じたことは、高齢化の実態、推移や現状、また環境含めた変化等の説明が多いように思われます。

今後のあじさい大学の在り方や運営をどのようにするか、そのための参考になるような多くの事柄を記載して欲しかった。

現在の市民大学では講師が講座内容の説明し、生徒が聞いて授業を受けるような内容が多いように思います。現在のあじさい大学では先生の指導で体験学習的に実施されている講座が多いように思います。

“あじさい大学コース”は運営自体が変わるのか、講座の場所含めて検討する必要があると思います。

同じような講座を3大学で運営することは経費の無駄になりかねないので、一緒にすることには賛成しますが、受講者が以前より良くなったと思われるようにして欲しいと思います。

今回、あじさい大学の現状及びあじさい大学を取り巻く環境を中心に説明をいたしました。課題を踏まえ、今後、市民大学(仮称)あじさい大学コースの運営等につきまして、市民大学所管課(生涯学習課生涯学習センター)と調整しながら説明させていただきたいと考えています。

「介護が必要とならないような予防サービスの充実」の観点からも「あじさい大学」の担う活動存続は大変重要です。令和4年度以降更に充実した取り組みになります事、期待致します。尚、私の担当する「健康科コーラス」の授業内容も今までより更に健康維持に特化する充実した内容になっております。募集時の内容紹介文もその辺のアピールをしたいと考えております。コーラスとしては多人数は理想的ですが、10~20人位でも成り立ちますので小さな部屋でも大丈夫ですし、ピアノが無くてキーボード持ち込みで声の出せるスペースであれば、それも可能です。いかようにも工夫して実践する事ができます。今後とも、宜しくお願い致します。

あじさい大学の存在意義を踏まえた講座内容についての具体的なご提案をありがとうございます。ポストコロナにおける対応の参考とさせていただきます。

資料を読ませていただきました。高齢化社会の進行する中で、特に「6 あじさい大学の課題について」内容を掘り下げていただきたい。また、超高齢化社会への移行に伴う地域社会の変化、課題の多様化も言われています。また絆づくりと活力ある地域社会の充実が求められています。あじさい大学でこれらの内容での学習機会の充実も大切になってくるのではないかと思います。

さらに内容によっては、市民大学、地域づくり大学との連携も考えられると思います。

ご指摘のあじさい大学の課題につきましては、今後のあじさい大学見直し検討部会におきまして、更にご説明させていただきたいと考えております。

また、絆づくりと活力ある地域社会の充実につきましては、(仮称)あじさい大学コースにて想定する健康・介護予防関係に直接反映することは難しいものの、ご意見につきましては今後の参考とさせていただきます。

コロナの完全な終息は難しいという前提で、オンライン(ZOOM等)を活用しながら、定員50名のところ、半数はオンライン、もう半数は会場で密を避けながらの実施をする。

事前に講師が授業を動画で作成しておき、動画配信で授業を進める。

(上記)2つをMIXして行う。

オンラインを活用する講座につきましては、その有用性を認識しているところがございます。現在、高齢者の中には、インターネット接続環境がない、あるいは機器操作が難しいという声もあることから、今後の課題とさせていただきたいと考えております。

開校後、39年間続いてきましたが、ある程度の目的は果たしてきたとおもいますが、仲間づくりについては疑問があります。時代の趨勢をふまえ再構築をする時期に来ているのではないかと感じています。

例えば、現在公民館が実施している、高齢者学級との共催での開催により、各地域でのふれあい(仲間づくり)が築かれるものと考えられるが、費用の面と地域の仲間づくりが、なお一層進展するものと思います。

あじさい大学における仲間づくりにつきましては、資料にお示ししたとおり、人との「関係性について親密な付き合いを避けるようになってきた」状況もあることから、高齢者に限定した現在の対象者を拡大し、世代間交流を通じて仲間づくりを図ろうとするものでございます。ご意見のとおり高齢者学級につきましては各地域での高齢者のふれあいに大変有効だと認識しておりますので、今後、(仮称)あじさい大学コースからの高齢者学級のご案内や連携等も視野に入れてまいりたいと考えております。

あじさい大学を市民大学の一部に位置付けるということで令和4年度からの実施を目標とするとありましたが、“あじさい大学部門”は対象者が高齢者のため、コロナ感染症の状況をふまえ、開催時期は柔軟に考え、安全安心な開催が必要であると考えている。

高齢者は新型コロナウイルス感染症に感染した場合の重症化リスクが高いとされており、ご意見のとおり感染症の感染状況等を十分に踏まえ、(仮称)あじさい大学コースの開催方法、開催時期等につきまして慎重に検討してまいります。

## (2) あじさい大学見直し検討部会について

事務局より資料送付し、相模原市高齢者大学設置運営要綱第6条第2項の規定に基づき、あじさい大学運営委員会委員長からあじさい大学見直し検討部会構成員（6名）が資料2のとおり指名されたことを報告した。

【主な質問等】

市民大学との調整組織はどの様にするのか？（オブザーバー参加とか）

市民大学との調整につきましては、高齢・障害者福祉課と市民大学所管課（生涯学習課生涯学習センター）との打合せを基本とし、別途、調整組織は想定しておりません。打合せに際してはあじさい大学運営委員会（あじさい大学見直し検討部会）のご意見を共有するとともに、打合せの状況等についてあじさい大学運営委員会（あじさい大学見直し検討部会）に適宜お伝えしてまいりたいと考えております。

工夫しながら、検討部会で話し合っていけたらと……！

部会も書面会議を、ZOOM や LINE の TV 電話の形で、オンラインで行ってはどうか？

（3）その他

議題「（2）あじさい大学見直し検討部会について」にて指名された部会構成員に、正副部会長の互選に関する意向の確認をしたところ、全員から事務局に一任された。後日、事務局にて正副部会長の調整を行うこととした。

【主な質疑】

コロナ禍において、日常にストレスを抱えている方々も多い中、感染拡大防止対策をしながら、新しい生活様式を変え、高齢者に少しでも、あじさい大学が役に立てればと思う。

授業数や講座の数、学科数と大きな見直しとなる予定の中で、あじさい大学の名称も変えて、新たな START を検討されてはどうか？（例：Sagamihara 健康アンチエイジング大学（カレッジ）等）

今後の検討の参考とさせていただきます。

閉会

## あじさい大学運営委員会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小林 政美	社会教育委員会議委員	委員長	出席
2	安藤 正義	老人クラブ連合会会長	副委員長	出席
3	大久保 祐次	社会福祉協議会理事		出席
4	板倉 忠臣	老人クラブ連合会副会長		出席
5	八木 鉄雄	民生委員児童委員協議会常任理事		出席
6	堤 道子	民生委員児童委員協議会常任理事		出席
7	高井 登志子	公民館連絡協議会副会長		出席
8	八木 朋子	学識経験者		出席
9	池田 直道	市文化協会会長		出席
10	佐藤 暁	市スポーツ協会常務理事		出席
11	平岡 亮一	講師代表（健康1）		出席
12	大沼 ケイ	講師代表（健康4）		出席
13	欠員	学生代表		
14	欠員	学生代表		